

各位

会社名 株式会社トランザクション
 代表者名 代表取締役社長 石川 諭
 (銘柄コード 7818 : 東証第一部)
 問合せ先 取締役 北山 善也
 電 話 03-6861-5577

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月31日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2019年10月10日に公表いたしました2020年8月期通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2020年8月期通期業績予想数値の修正 (2019年9月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,602	百万円 2,271	百万円 2,283	百万円 1,518	円 銭 52.09
今回修正予想 (B)	18,400	2,750	—	—	—
増減額 (B-A)	797	478	—	—	
増減率	4.5%	21.1%	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年8月期)	16,451	2,046	2,072	1,287	44.99

2. 修正の理由

当社は、2020年7月10日公表の「2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2020年8月期の業績予想を合理的に見積もることが困難であるため、2019年10月10日の公表数値を修正せず据え置いておりましたが、売上高及び営業利益につきましてそれぞれ修正いたしました。

当期につきましては、上半期において社会環境や消費動向の変化を踏まえた「エコプロダクツ」「ライフスタイルプロダクツ」「ウェルネスプロダクツ」の3プロダクツに注力してまいりましたが、下半期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限に抑えるべく各種取り組みを進めました。結果、エンタテインメント業界におけるイベント物販品やトラベル関連製品等の売上が低迷しマイナスの影響となりました。一方で、コロナ禍において調達と販売における当社グループの強みを最大限に発揮したことによりウイルス感染対策製品の売上が伸長したことに加え、本年7月からのレジ袋有料義務化によるエシカルブランド「MOTTERU」の売上が伸長いたしました。これらプラスの影響がマイナスの影響を上回ったことから、連結売上高は前年に比べ伸長し前回予想を上回る見通しです。また、利益につきましても、売上高の伸長による売上総利益の増加、販売管理費の計画的支出により、前年に比べ大きく伸長し営業利益は前回予想を上回る見通しです。

なお、営業利益の修正予想を踏まえ、経常利益以下に関わる各損益についての見込みを精査しております。そのため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、一旦未定とさせて頂き、今後精査が終わり次第速やかに公表いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上